

令和2年度企画展

木簡

もっかん

荷札からみた江戸時代の赤穂



会期 7月15日(水) ↓ 9月22日(火・祝)

赤穂市立有年考古館

令和2年度企画展

木簡

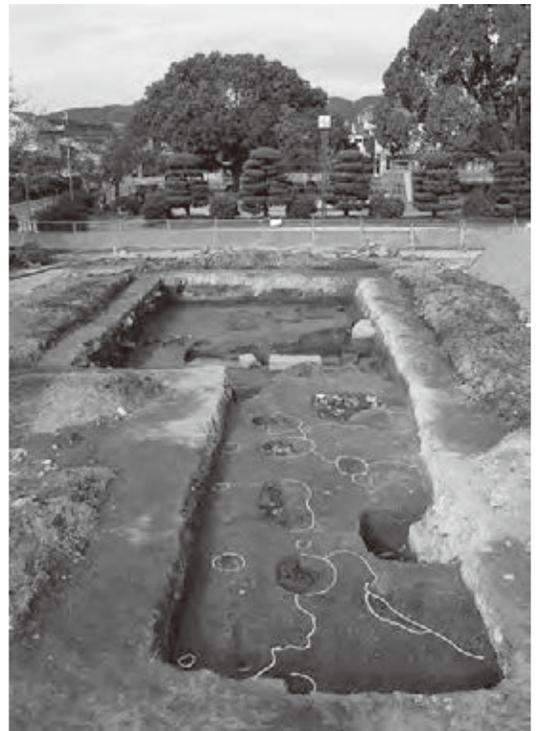
荷札からみた江戸時代の赤穂

木簡（もっかん）とは、考古学や歴史学の分野で使われる用語で、文字の書かれた木の板のことを指します。木簡はメモや荷札、まじないの道具などとして使われることが多く、紙が広く普及する江戸時代以降には主に荷札として使われました。

薄い木の板でできた木簡は地中で腐って無くなってしまふことが多く、江戸時代のものであっても、発掘調査で発見されることは非常にめずらしいものです。



木簡の出土した赤穂城本丸跡の発掘調査



木簡の出土した赤穂城下町跡の発掘調査

ところが、赤穂城跡・赤穂城下町跡は木簡が腐らない特殊な環境にあるためか、江戸時代の木簡が多く出土する全国的にも珍しい遺跡になっています。

こうした木簡の中には江戸時代の様々な時期のものがみられ、「忠臣蔵」で著名な浅野家の家臣の名が書かれたもの、町人や豪商の名が書かれたもの、食材や荷物の名が書かれたものなどがあり、当時の人々の生活や交友関係を垣間見ることがができます。

今回の展示では、木簡から、江戸時代の赤穂の人々のようすを考えます。



赤穂市立有年考古館

〒678-1181 兵庫県赤穂市有年榎原1164番地1

TEL・FAX 0791-49-3488

入館無料

- 休館日■ 火曜日 ※火曜日が祝日と重なる場合は次の平日
年末年始（12月28日～1月4日）
- 開館時間■ 午前10時～午後4時（入館は午後3時30分まで）
- Webサイト■ 「赤穂市立有年考古館」で検索！
- Mail■ kyosyogai@city.ako.lg.jp